

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年8月13日

【四半期会計期間】 第67期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社サンテック

【英訳名】 Sanyo Engineering & Construction Inc.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 八幡 欣也

【本店の所在の場所】 東京都千代田区二番町3番地13

【電話番号】 (03)3265 - 6181(大代表)

【事務連絡者氏名】 管理部長 船戸 文英

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区二番町3番地13

【電話番号】 (03)3265 6181(大代表)

【事務連絡者氏名】 管理部長 船戸 文英

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社サンテック広島支社  
(広島市中区大手町五丁目3番18号)

株式会社サンテック大阪支社  
(大阪市北区中津一丁目7番8号)

(注) 株式会社サンテック広島支社及び大阪支社は、法定の縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜のため縦覧に供する場所としております。

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第66期 第1四半期 連結累計期間		第67期 第1四半期 連結累計期間		第66期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高 (千円)		5,938,686		8,090,662		33,126,746
経常利益又は経常損失( ) (千円)		327,491		252,096		861,147
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失( ) (千円)		200,181		131,641		432,683
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		230,942		302,480		979,954
純資産額 (千円)		26,769,282		28,067,578		27,979,945
総資産額 (千円)		36,394,664		39,474,496		40,670,021
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額( ) (円)		9.35		6.15		20.20
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		73.6		71.1		68.8

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興関連需要などの増加や政府・日本銀行による各種政策の効果に対する景気回復への期待感から円安や株高の流れにあり、緩やかながらも改善の動きを見ることができました。しかしながら、中国など新興国における経済成長の鈍化の影響もあり、景気動向の先行きは依然として不透明なものとなりました。

建設業界におきましては、補正予算等の押し上げ効果から公共投資は堅調に推移し、民間設備投資も企業業績の改善により持ち直しに向かったものの、その一方で、受注価格競争はなおも厳しいものとなりました。

このような受注環境のもと、当社グループは営業力の強化を重点課題として、安定的な受注量および適正利益の確保に向け、再生可能エネルギー関連工事への参入や新規顧客開拓を積極的に推進してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、受注高121億36百万円（前年同四半期比44.3%増）、売上高80億90百万円（前年同四半期比36.2%増）となりました。収益面では前年同四半期と比べ売上総利益率はわずかながら改善したものの、いまだに低く、営業損失34百万円（前年同四半期は営業損失2億14百万円）となりましたが、為替差益1億13百万円の影響もあり、経常利益2億52百万円（前年同四半期は経常損失3億27百万円）、四半期純利益1億31百万円（前年同四半期は四半期純損失2億円）を計上する結果となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（日本）

当第1四半期連結累計期間の売上高は47億78百万円（前年同四半期比30.9%増）となり、営業利益は1億70百万円（前年同四半期は、営業損失28百万円）となりました。

（東南アジア）

当第1四半期連結累計期間の売上高は28億30百万円（前年同四半期比49.3%増）となり、営業利益は70百万円（前年同四半期は、営業利益71百万円）となりました。

（その他アジア）

当第1四半期連結累計期間の売上高は4億82百万円（前年同四半期比21.1%増）となり、営業損失は7百万円（前年同四半期は、営業利益4百万円）となりました。

なお、「第2 事業の状況」における各事項の記載については、消費税等抜きの金額で表示しております。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産合計は、前連結会計年度末に比べ11億95百万円減少し、394億74百万円となりました。主な要因は、現金預金12億53百万円の増加に対し、受取手形・完成工事未収入金等17億13百万円および未成工事支出金3億40百万円の減少などによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ12億83百万円減少し、114億6百万円となりました。主な要因は支払手形・工事未払金等12億99百万円の減少などによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ87百万円増加し、280億67百万円となりました。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	80,000,000
計	80,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	23,805,000	23,805,000	東京証券取引所 (市場第二部)	権利内容に何ら限定のない当社 における標準となる株式であ り、単元株式数は、1,000株であ ります。
計	23,805,000	23,805,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		23,805,000		1,190,250		2,007,002

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 2,390,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 21,165,000	21,165	
単元未満株式	普通株式 250,000		
発行済株式総数	23,805,000		
総株主の議決権		21,165	

(注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が669株含まれております。

2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サンテック	東京都千代田区二番町 3番地13	2,390,000		2,390,000	10.04
計		2,390,000		2,390,000	10.04

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、東邦監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	11,939,225	13,192,852
受取手形・完成工事未収入金等	12,433,964	10,720,796
有価証券	1,299,911	1,299,798
未成工事支出金	1,403,404	1,062,772
繰延税金資産	147,243	46,141
その他	1,843,055	1,588,872
貸倒引当金	1,658,492	1,703,712
流動資産合計	27,408,314	26,207,520
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,769,155	3,769,155
その他(純額)	1,775,205	1,749,116
有形固定資産合計	5,544,361	5,518,272
無形固定資産	72,515	67,221
投資その他の資産		
投資有価証券	3,577,471	3,636,504
投資不動産(純額)	3,590,761	3,582,217
その他	753,798	740,931
貸倒引当金	277,200	278,170
投資その他の資産合計	7,644,830	7,681,483
固定資産合計	13,261,707	13,266,976
資産合計	40,670,021	39,474,496
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	8,628,154	7,328,665
未払法人税等	360,571	86,083
未成工事受入金	1,767,502	2,069,155
完成工事補償引当金	16,000	16,000
工事損失引当金	147,045	59,568
賞与引当金	59,413	-
その他	771,350	892,379
流動負債合計	11,750,038	10,451,852
固定負債		
繰延税金負債	308,106	319,355
退職給付引当金	39,495	38,361
役員退職慰労引当金	267,926	272,583
その他	324,509	324,765
固定負債合計	940,038	955,065
負債合計	12,690,076	11,406,918



	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,190,250	1,190,250
資本剰余金	2,007,002	2,007,002
利益剰余金	25,173,550	25,091,048
自己株式	950,961	951,666
株主資本合計	27,419,840	27,336,634
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	453,249	481,984
為替換算調整勘定	106,854	248,959
その他の包括利益累計額合計	560,104	730,943
純資産合計	27,979,945	28,067,578
負債純資産合計	40,670,021	39,474,496

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,938,686	8,090,662
売上原価	5,380,628	7,323,865
売上総利益	558,058	766,796
販売費及び一般管理費	772,356	801,526
営業損失( )	214,297	34,729
営業外収益		
受取利息	5,928	4,879
受取配当金	23,894	25,302
受取地代家賃	87,543	81,582
為替差益	-	113,686
持分法による投資利益	17,183	13,788
その他	32,470	89,712
営業外収益合計	167,020	328,952
営業外費用		
支払利息	3,787	-
不動産賃貸費用	26,947	25,830
為替差損	232,284	-
その他	17,194	16,295
営業外費用合計	280,214	42,126
経常利益又は経常損失( )	327,491	252,096
特別利益		
固定資産売却益	1,892	-
特別利益合計	1,892	-
特別損失		
固定資産除却損	63	1,935
ゴルフ会員権退会損	-	1,000
特別損失合計	63	2,935
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	325,662	249,161
法人税等	125,481	117,520
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	200,181	131,641
少数株主利益	-	-
四半期純利益又は四半期純損失( )	200,181	131,641

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	200,181	131,641
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98,411	28,734
為替換算調整勘定	67,650	142,105
その他の包括利益合計	30,760	170,839
四半期包括利益	230,942	302,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	230,942	302,480
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	58,287千円	57,282千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	214,152	10	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	214,143	10	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	日本	東南アジア	その他アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,649,516	1,895,887	393,282	5,938,686		5,938,686
セグメント間の内部 売上高又は振替高			4,975	4,975	4,975	
計	3,649,516	1,895,887	398,257	5,943,661	4,975	5,938,686
セグメント利益又は 損失( )	28,425	71,747	4,715	48,037	262,334	214,297

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額 262,334千円は配賦不能営業費用であり、主なものは親会社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー

(2) その他アジア : 中国、台湾

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	日本	東南アジア	その他アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,778,333	2,830,005	482,323	8,090,662		8,090,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	4,778,333	2,830,005	482,323	8,090,662		8,090,662
セグメント利益又は 損失( )	170,110	70,520	7,799	232,832	267,562	34,729

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額 267,562千円は配賦不能営業費用であり、主なものは親会社管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 東南アジア : シンガポール、タイ、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー

(2) その他アジア : 中国、台湾

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )	9円35銭	6円15銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	200,181	131,641
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	200,181	131,641
普通株式の期中平均株式数(株)	21,415,233	21,413,212

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月13日

株式会社 サンテック  
取締役会 御中

### 東 邦 監 査 法 人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 矢 崎 英 城 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 小 林 広 治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンテックの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンテック及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。